

前期日程

教 科
国 語

(人文学部)

注 意

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
- 2 問題はページから七ページにわたっている。問題冊子が不備な場合は、直ちにその旨を監督者に申し出ること。
- 3 解答用紙は二枚で、問題冊子とは別になっている。解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入せよ。解答用紙の所定欄以外に記入した解答は、評価(採点)の対象としない。
- 4 受験番号は、解答用紙二枚の受験番号の欄(各二か所)に記入せよ。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

実施年月日
29. 2. 25
富山大学

1

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

著作物引用箇所のため非公開

著作物引用箇所のため非公開

著作物引用箇所のため非公開

著作物引用箇所のため非公開

(渡辺 靖『文化』を捉え直す』より)

- 問 1 傍線(ウ)、(オ)、(カ)の片仮名を漢字に直し、(ア)、(イ)、(エ)の漢字の読み方を平仮名で書きなさい。
- 問 2 傍線①「その逆説」とは具体的にどのようなことを指すか、四〇字以内で記しなさい。
- 問 3 傍線②「私はシャルリーではない」という「公言」にはどのような思いが込められているか、三〇字以内で記しなさい。
- 問 4 傍線③「二項対立」の「二項」とは何か、記しなさい。
- 問 5 傍線④「こうした文化的なカテゴリーや境界線」が指す内容を簡潔にすべて記しなさい。
- 問 6 空欄Ⅰ、Ⅱに入る最もふさわしいことばを次の中から選び記しなさい。
- 【経済 哲学 政治 宗教】
- 問 7 傍線⑤「寛容が不寛容の側に自らを貶めること」とは具体的にどのような人々がどのようなことをすることか、六〇字以内で簡潔に記しなさい。
- 問 8 傍線⑥「相克」と同じ意味で用いていることばを文章中から抜き出しなさい。
- 問 9 傍線⑦「ナショナル・アイデンティティ」への希求も高まっている中で、作者はどのような点に注意すべきだと主張しているか、五〇字以内で記しなさい。

2

は、次のページから始まります。

次の文章は、『枕草子』二条の院をば今内裏とぞいふ」という章段の全文です。主上(一条天皇が一条の院で笛を吹く姿を描いています。これを読んで、後の問いに答えなさい。

一条の院をば今内裏とぞいふ。おはします殿は清涼殿にて、その北なる殿におはします。西 東は渡殿にて、わたらせたまひ、まうのぼらせたまふ道にて、前は壺なれば、前栽植ゑ、籬結ひて、いとをかし。

二月二十日はかりの、うらうらとのどかに照りたるに、渡殿の西の廂にて、上の御笛吹かせたまふ。高遠の兵部卿御笛の師にて物したまふを、御笛二つして高砂を折り返して吹かせたまふは、なほいみじうめでたしといふも、世の常なり。御笛の事どもなど奏したまふ、いとめでたし。御簾もとにあつまり出でて見たてまつるをりは、「芹摘みし」などおほゆる事こそなけれ。

すけただは木工允にてぞ、藏人にはなりたる。いみじく荒々しくうたてあれば、殿上人、女房「あらはこそ」とつけたるを、歌に作りて、「さうなしの主、尾張人のたねにぞありける」とうたふは、尾張の兼時がむすめの腹なりけり。これを御笛に吹かせたまふを、添ひに候ひて、「なほ高く吹かせおはしませ。え聞きさぶらはじ」と申せば、「いかが。さりととも聞き知りなむ」とて、みそかにのみ吹かせたまふに、あなたよりわたりおはしまして、「かの者なかりけり。ただいまこそ吹かめ」と仰せられて、吹かせたまふは、いみじうめでたし。

注 ○今内裏——仮の内裏の意。これより以前に内裏が火事で焼け、主上は一条の院を御所としていた。

○その北なる殿におはします——清涼殿の北の殿舎を中宮定子が住まいとしていた。また次の「わたらせたまひ」は主上が中宮のもとへ渡御すること、[まうのぼらせたまふ]は中宮が主上に参上することを指す。

○壺——中庭。

○籬——植え込みの周囲の柵。

○西の廂——清涼殿の東の渡殿の西側にしつらえられた部屋。

○上——主上。一条天皇のこと。

○高遠の兵部卿——藤原高遠(九四九〜一〇一三)。当時一条天皇の管弦の師範であった。

○高砂——催馬樂の曲目の一つ。

○すけただ——藤原輔尹が想定されている。

○木工允・蔵人——木工允は木工寮の三等官。蔵人は蔵人所の職員。

○あらはこそ——「露骨さん」の意。

○さうなし——「左右なし」で、あれこれためらわないの意。

○尾張人のたね——「たね」は子孫のことで、次の「尾張の兼時がむすめの腹」という意。

○添ひに候ひ——そばに付き添い申し上げ。

○みそかに——こつそりと。

問1 傍線アからオの主語を、敬語の使用の有無に留意して、次の【 】の中から選び、記号で答えなさい。

【 A 清少納言 B 主上 C 高遠の兵部卿 D すけただ E 殿上人・女房 】

問2 傍線a「めでたし」、およびb「うたて」の意味を答えなさい。

問3 傍線①で、「芹摘みし」とは、

「芹摘みし昔の人も我が如や 心に物は叶はざりけむ」

という古歌のことです。この歌を引くことで、清少納言はどのような気持ちを描いているのですか。分かりやすく説明しなさい。

問4 傍線②を、「え聞きさぶらはし」の主語を明らかにしながら、口語訳しなさい。

問5 傍線③「知りなむ」を文法的に説明しなさい。

問6 傍線④で、なぜ主上はこの時「みそかにのみ」笛を吹いたのですか。分かりやすく説明しなさい。

問7 傍線⑤で、「かの者」とはだれですか。またここからうかがえる主上の人となりを分かりやすく説明しなさい。

1								
問 9	問 8	問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
			I					(ア)
								(イ)
			II					(ウ)
								(エ)
								(オ)
								(カ)

教科
国
語

解
答
用
紙
(人文学部)

受 験 番 号

受 験 番 号

得 点 欄 1

国 語 (人文学部)
得点欄
1

2						
問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
主上の人となり	「かの者」				a	(ア)
						(イ)
						(ウ)
					b	(エ)
						(オ)
						/

教 科
国
語

(人文学部)
解 答
用 紙

受 験 番 号									

受 験 番 号									

得 点 欄 2

国 語 (人文学部)
得点欄
2